

男女共同参画特集

すべての人が自分らしく暮らせるまちへ

～市民意識調査から見た現状と課題、新たな男女共同参画計画～

誰もが自分らしく暮らし、働き、地域で活躍できるまちを目指して、令和6年に実施した市民意識調査などをもとに「桐生市男女共同参画計画(令和8年度～令和12年度版)」を策定しました。

今回は、市民意識調査から見てきた現状や課題とともに、新たな計画の概要を紹介します。計画の全文

や意識調査の結果は、市HP(下の二次元コード)と地域づくり課(市役所2階)で確認できます。

☎地域づくり課女性活躍・多文化共生担当(☎32 - 3129)



▲男女共同参画市民意識調査



▲桐生市男女共同参画計画

男女共同参画は身近な暮らしの話です

「男女共同参画」と聞くと、「難しそう」「自分にはあまり関係ない」と感じる人もいるかもしれません。

しかし、家事や育児を家族で分担したい、仕事と家庭を両立したい、地域活動や防災にさまざまな人の意見を反映したいなどといった、私たち一人ひとりの身

近な暮らしに関わる計画です。

男女共同参画とは、「男だから」「女だから」といった固定的な役割や考え方にとらわれず、一人ひとりが個性や能力を発揮し、自分らしく暮らせる社会を目指す考え方です。

市民意識調査の結果から

※令和6年度市民意識調査(回答者数：324人)

Q. 職場で男女平等でないと思うこと(複数選択)

- ・賃金(33.3%)
- ・管理職などへの就きやすさ(31.5%)
- ・重要度の高い仕事の分担(23.5%)
- ・子育てや介護のための休暇取得(22.2%) など

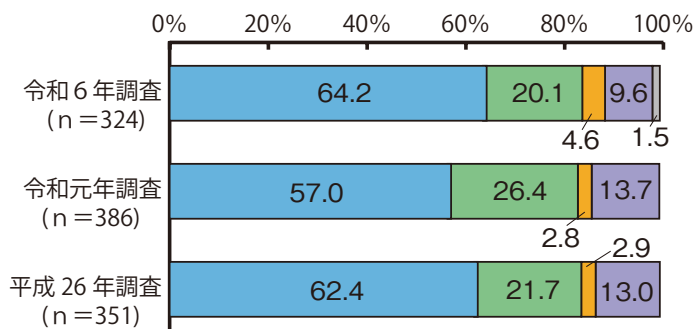
Q. 防災・災害対策に男女共同参画の視点を反映させるために必要だと思うことは?(複数選択)

- ・避難所の運営に男女両方の視点が入る(60.8%)
- ・防災訓練や研修に男女ともに積極的に参加する(46.9%)
- ・男女別のニーズに配慮した避難所運営マニュアルの作成(42.3%)
- ・市の防災会議に女性委員を増やす(21.0%) など

市民の声

- ・女性の議員や首長(行政の代表)が少ない。
- ・町会や団体の代表、役員には男性が多い。
- ・残業や力仕事、汚れ仕事は男性が任される。
- ・女性専用〇〇、女性割引が多い。
- ・昔からの男尊女卑の考えが変わらない。

Q. 社会で感じる「男女の地位の平等感」について



■男性優遇 ■平等 ■女性優遇 ■わからない ■未回答

※男性/女性優遇の回答には「どちらかといえば」を含む

※パーセント表示は四捨五入により、合計が100%にならない場合あり

桐生市男女共同参画推進協議会委員の声

- ・昔は授業参観に母親が行くのが当たり前だったが、今は父親の参加が増えている。
- ・性別が理由で管理職になりづらいだけではなく、「仕事と家庭の両立の難しさ」などから、引き受けられない女性が多いのも一因。
- ・育児休業において、その分の仕事をサポートする側の人たちの負担感を減らす体制は十分か？

3つの基本目標と主な施策

基本目標Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた整備



固定的な性別役割分担意識をなくし、お互いを尊重できる社会を目指す

- 学習機会の提供（学校、講座など）
- 男女平等・相互理解教育の推進
- 生涯学習の充実と地域活動への参画促進
- 広報や啓発活動

基本目標Ⅱ あらゆる分野における男女共同参画推進



仕事と生活の両立支援や、さまざまな場面で活躍できる環境づくりを進める

- 事業所や地域での女性参画の推進
- 柔軟な働き方の促進と就労支援
- 育児・介護休業などの取得促進と、ハラスメントの防止

基本目標Ⅲ 安全安心に暮らせるまちづくり



暴力の根絶、地域防災体制の整備、健康で自立して社会に参画できるまちづくりを進める

- あらゆる暴力の根絶にむけた啓発
- 防災施策における男女共同参画視点の強化
- 支援を必要とする人が安心して暮らせる環境の整備

重点的に取り組む課題

1. あらゆる分野における女性の参画促進

市政や地域の運営、防災の場に多様な視点を取り入れるため、女性が活躍できる環境づくりを進めます。

2. 固定的性別役割分担意識の解消

「男だから」「女だから」という固定観念は、一方の性に対して仕事や家庭の負担の偏り、不平等を生みます。性別による固定的な意識を見直し、誰もが自分らしく活躍できる地域を目指します。

身近なところから考えてみませんか？

一人ひとりの意識と行動が、自分らしく暮らせるまちにつながります。まずは、性別で役割を決めつけてしまう、「固定的性別役割分担意識」を解消していくことから始めましょう。



家庭や職場、学校など身近な人と話し合ってみましょう！

いくつチェックができましたか？

生活の中で思うことを話し合ってみましょう

- 家事は得意な人がやる？みんなで分担する？
- 「これは女性(男性)がやるもの」と思っていることはある？
- 仕事と家庭もどちらも大切にできる社会になっている？
- 身近で「まだ平等ではない」と感じることは？

普段の行動を振り返ってみましょう

- 家事など家のことは家族で話し合って分担している
- 「男だから」「女だから」と決めつけないようにしている
- 相手の考えや生き方を尊重している
- 性別ではなく、その人自身を見て接している

市民総参加の夏の祭典！
第63回 桐生八木節まつり

こんにちは
市長です



私は「静」の祇園「動」の八木節、見る祭りではなく、超参加型のお祭りです！と県内外の方に宣伝しています。悠久の歴史と文化によって継承された「桐生祇園祭」と民謡でありながら軽快なリズムと踊りが特徴である「八木節」の2本柱で構成される夏の祭典は、市の象徴であり宝です。全国の有名な祭りが東京ドームに集結する「ふるさと祭り東京」公演や第55回開催時には「ブルーインパルス」が群馬県で初飛行、テレビなどでも特集され、地域の祭りから全国的な祭りへと発展しています。これもひとえに、会場となる各町会や商店街、運営を担う各種団体、市民の皆様のご尽力のたまものであると感謝しています。熱中症など体調には、十分注意して祭りを楽しんでください！

桐生市長 荒木 恵司